

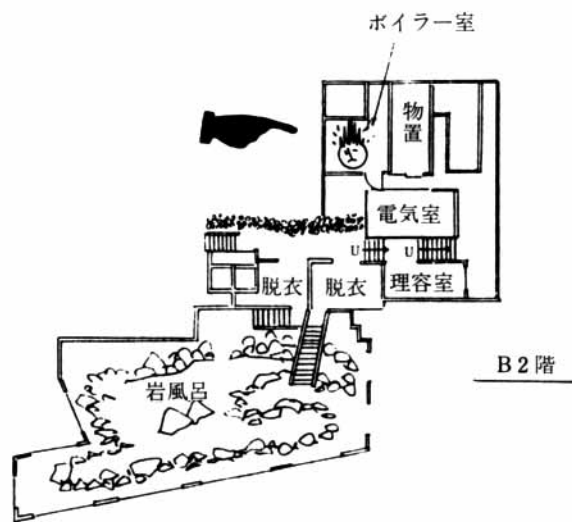
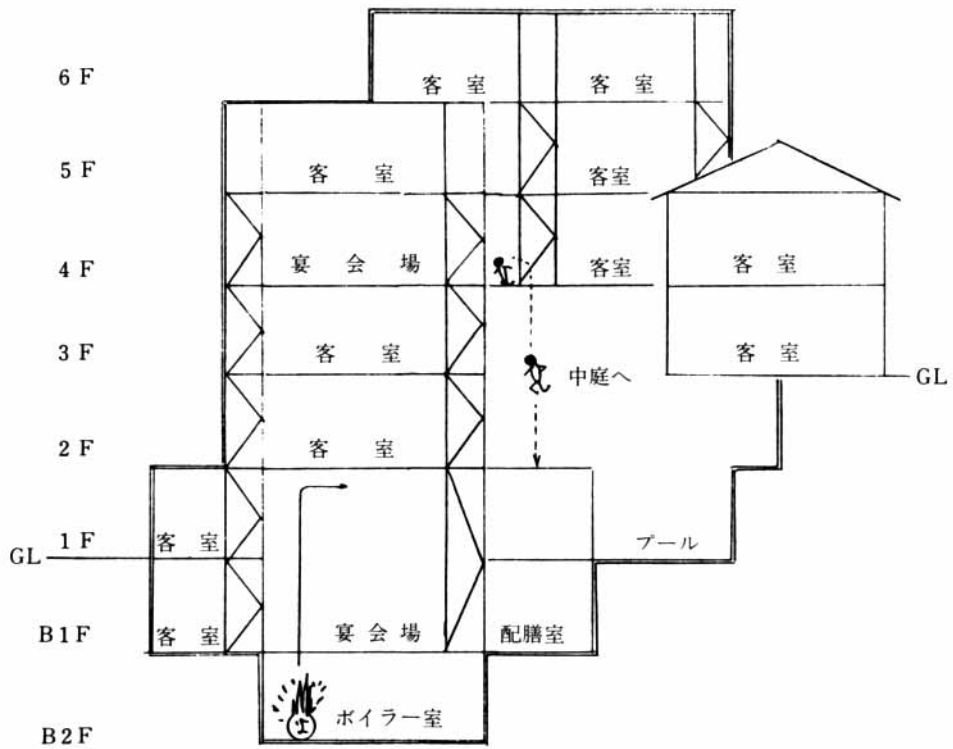
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
大伊豆ホテル  神奈川県足柄下郡 湯河原町宮上636	ホテル  (5)イ	昭和43年2月25日	耐火一部 木造 ½	全・⊕・部・小	死者
		出火6時30分ころ 覚知7時25分 覚知別 報知電話 鎮火9時15分	建 2,098 m <sup>2</sup> 延 9,708 m <sup>2</sup>	1,200 m <sup>2</sup> (12%)	2名 傷者 79名 ( )

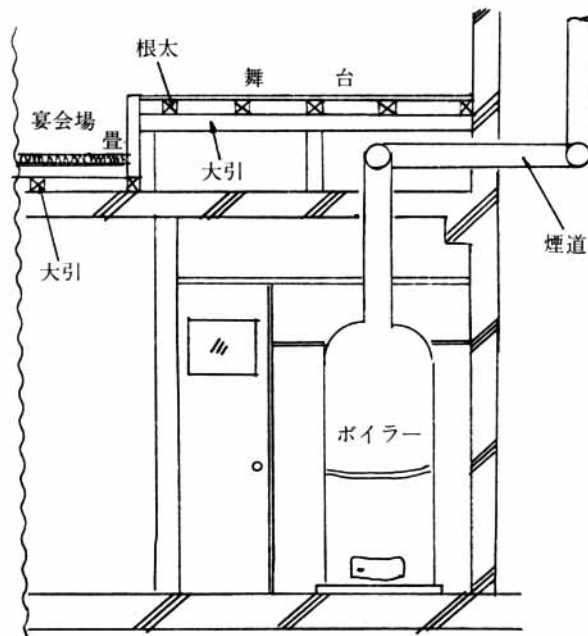
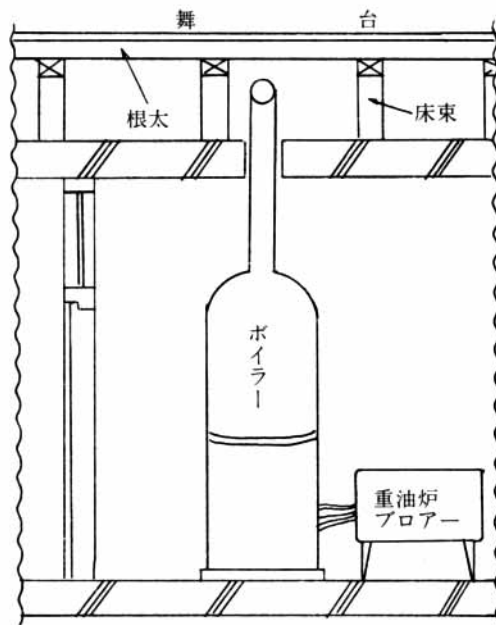
I 火災概要									
① 概 要	地下2階のボイラー室から出火し上階の大広間を焼損したのみであったが、防火に対して全く関心をもっていなかったホテル側は、この火災を安易に考えて対応したため上階にいた客が逃げ遅れて窓から雨樋やロープ・シーツなどで避難することとなり、さらに煙に巻かれて2名が死亡するという惨事となった。								
② 階 別 状 況	階	床面積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等	消防用設備等	
	6	198.8m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	屋上, 客室	宿泊者		屋内階段 3ヶ所 (B2~6F) (B1~5F) (1F~6F)	⊕ 非 ベル	
	5	1,198.0		客室	72				
	4	1,198.0		客室, 大広間	80	2			
	3	1,191.0		客室, 調理室	85				
	2	1,811.7		客室, 娯楽センター	112				
	1	2,098.7		玄関, ロビー 客室	99				
	B1	1,660.9	1,200	宴会場 配膳室					
	ⓑ2	351.2		ボイラー室 電気室					
	合計	9,708.3	1,200		448	2			
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 地下2階ボイラー室から出火				④ 出 火 原 因	ボイラーの不完全燃焼によるものと推定される。			

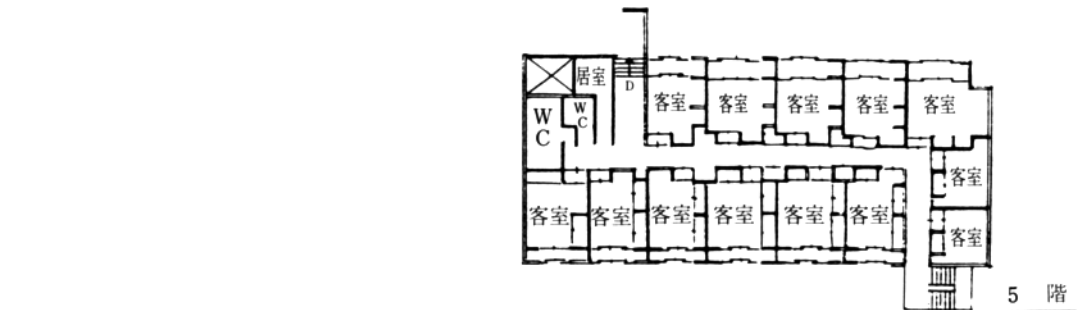
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火部位) 地下2階 ボイラー室</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火室の拡大) ボイラーの不完全燃焼 により漏れた油に燃え 移り拡大した</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(上階への拡大) 煙突のコンクリート貫通部が埋め 戻し不完全のためここより炎が立 ち上り上階舞台部へ延焼</div> </div>	
	<p>ボイラー煙突内の通風作用が悪く不完全燃焼となり出火したボイラーは、火勢を拡大し、煙突がコンクリートスラブを貫通している部分に埋め戻しがなされていなかった隙間があったため、ここより火煙は上階地下1階の舞台床下に入りこみ舞台部の周壁・天井・垂幕などに延焼し、1階までの吹き抜けである大広間を焼損したが、ここで消防隊により阻止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由 ボイラーの煙突が立ち上がってコンクリート床を貫通している部分に隙間がありここより上階の舞台部へと延焼した。</li> <li>○ 煙の伝播経路 宴会場で発生した煙は舞台の床を燃え抜いたことからはげしく噴出し、大広間の両脇にある階段を伝って上昇し、まず最上階の5階に充満していき、次第に各階へとひろがっていった。</li> </ul>	
<b>II 火災建物概要</b>		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (営業) 昭和27年 月 日 (増築) 昭和34, 35, 41年 月 日	
管 理 状 況	<b>② 豎 穴 の 状 況</b>	<b>③ 防 火 管 理 状 況</b>
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> <hr/> 3ヶ所の直通階段があるが中央階段は各階開放、非常階段は地下1階開放、3・4階は合板の戸などで防火区画となっておらず残る1つも避難階段とはなっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防火管理者未選任</li> <li>○消防計画未作成</li> <li>○消防訓練未実施</li> <li>○自主点検等未実施</li> <li>○自衛消防隊組織なし</li> <li>○査察結果による指導についても何ら改善されなかった。</li> </ul>
管 理 状 況	<b>④ 防 火 区 画 等</b>	<b>⑤ 消 防 用 設 備 等</b>
	防火区画が全くなされておらず、部分的に簡易シャッターはあっても棚や荷物を置いてあるため操作ができず、開放されたままであった。	大規模はホテルであるが設備は皆無に等しく、屋内消火栓・自動火災報知設備すら設備されていなかった。

III 火災後の行動	
① 発見状況	<p>○発見者 (従業員数名)</p> <p>○発見の動機 (煙が充満してきたのを発見)</p> <p>○発見後の行動 (通報, 消火にあたる)</p>
	<p>調理人Aは地下1階で宴会場に朝食の配膳をしようとしたところ、煙が相当充満していたため地下2階に行ったが何もなくて戻ったのち再度地下2階ボイラー室に見に行くと火煙が一杯だった。営繕係Bは社宅(ホテルから200m先)にいたが7時15分頃従業員(女)が「配膳室が煙で入れない」と呼びにきた。ボイラーの煙突の蓋が脱落していたので取付けたがその時は煙突から煙は出ていなかった。その後ボイラー室の窓から煙が出ているのに気づきボイラー室に行き中に入ると煙が充満しており、ボイラーとコンプレッサーの中間やや後方に炎が見えた。</p>
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (交換手が通報) 発見後約( )分</p> <p>しない <input type="checkbox"/></p>
	<p>発見者Bは電気スイッチを切り機械類を止めようとしたが火花が出て止められないため、地下1階の調理場へ行き「火事だ」と知らせ、食堂の電話で交換台に「火事だから消防へ知らせてくれ」と頼んだ。電話交換手はただちに通報した。</p>
③ 初期消火状況	<p>消火した</p> <p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火時期 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p>
	<p>消火しない</p> <p>○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p> <p>○その他 <input type="checkbox"/></p>
<p>(理由又は状況)</p> <p>発見者Bは電話交換台に通報を依頼後他の者と消火器を持ってボイラー室に行き消火しようとしたが火煙が充満しており、手に負えないため断念し、200m離れた社宅付近にあるボイラーの油の元栓を止めようと考えて飛び出した。</p> <p>その後は再び戻って客の誘導に専念した。</p>	
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>通報が著しく遅れ、さらに関係者から消防隊への情報の提供がなされなかったため避難者及び要救助者等の掌握に支障をきたした。</p>

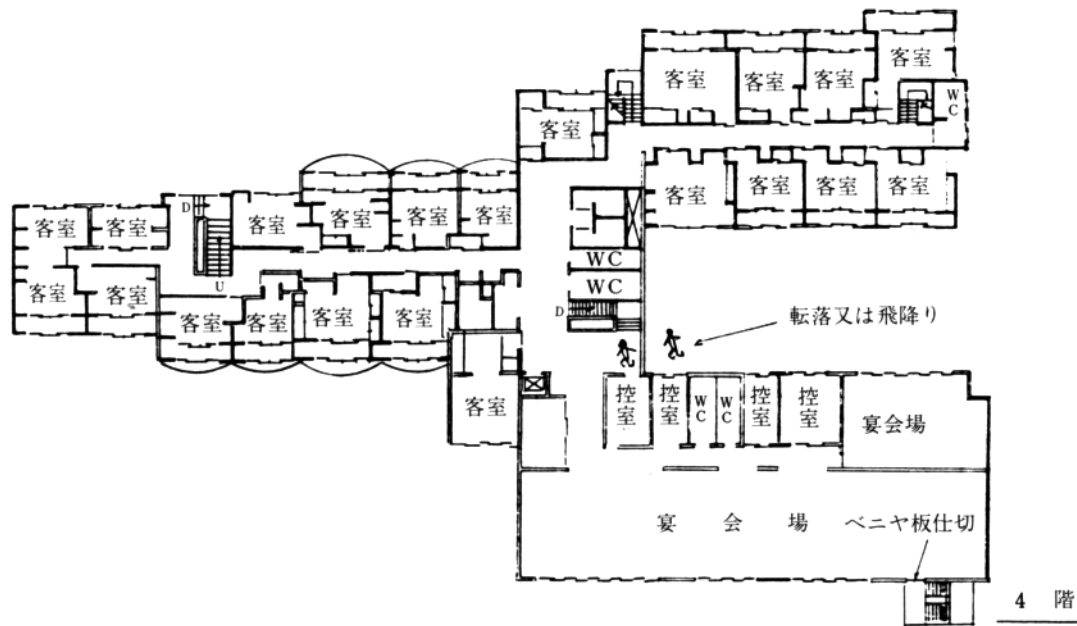
	避難方法	避難上支障事項											
⑤ 避難 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○救助 <input checked="" type="checkbox"/> ( 1 人)</li> <li>○その他( 雨樋、シーツ等を利用) <input checked="" type="checkbox"/> ( 18 人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>											
⑥ 死者 の 状況	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">健康人 2名</td> <td rowspan="5" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td>避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者 名)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>要保護者 名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児 名</td> </tr> <tr> <td>高齢者 名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者 名</td> </tr> <tr> <td>病人 名</td> <td></td> </tr> </table>	健康人 2名	}	避難上支障となった事項	(泥酔者 名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>	要保護者 名	乳幼児 名	高齢者 名	身体不自由者 名	病人 名		<p>○ホテル関係者はスピーカー及び警報ベルを使用したとっているが、全宿泊者には達しなかった。</p> <p>○宿泊客はほぼ満員であったが、出火時1階の大広間やロビーにいた者や散歩に出ている者が多く、また、中央階段と非常階段以外の階段は比較的安全であったようで4階以下の客は全員階段より避難している。(4階から中央階段を利用して避難した客も50数名いたとみられている。)</p> <p>○5階の宿泊者は一番早く煙に包まれたため大混乱となり、雨樋を伝わっておりたりシーツをつないでおりたり消防隊によってかけられたロープをおりてくる者が18名数えられている。</p>
健康人 2名	}	避難上支障となった事項											
(泥酔者 名)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>											
要保護者 名													
乳幼児 名													
高齢者 名													
身体不自由者 名													
病人 名													
<b>IV 問題点・教訓等</b>													
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早い時点で客や近隣者から「煙が出ており火災ではないか」という問い合わせが数回あったにもかかわらず、完全に確認せず安易に考えていたため、火災を拡大させてしまった。</li> <li>2. 防火管理者は選任されず、また、従業員の教育・訓練等が何ら実施されていないため、出火時において宿泊者に対する避難誘導がほとんどなされなかった。</li> <li>3. 増築につぐ増築といったつぎたし建物に対して消防用設備・避難設備等に対する規制の適用を強化していく必要がある。</li> <li>4. 3ヶ所ある直通階段はすべて避難階段とすべきであるにもかかわらず区画等はなされおらず、防火シャッターが開放されたままであったり、合板の扉で仕切られたりしていた。</li> </ol>													



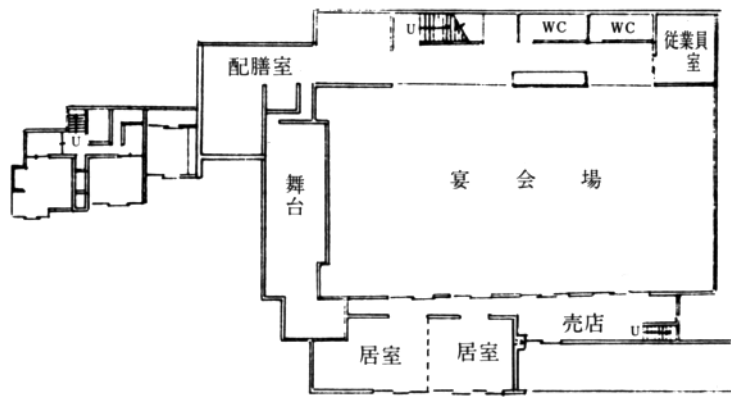




5 階



4 階



B1 階